

麻生区区民会議 第11回地域交流・文化部会 議事要旨

- 1 開催日時 平成23年11月7日(月)午後5時30分～8時30分
- 2 開催場所 麻生区役所第3会議室
- 3 出席者 [地域交流・文化部会委員]
石井委員、植木委員、魚本委員、菅原委員、竹市委員、武濤委員、
田中委員、土井委員、柳島委員
[事務局]
安生企画課長、阿部企画課担当係長、川里
- 4 傍聴者 1人
- 5 議事
 - (1) 調査審議課題について
 - ア 「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」について
【報告事項】
 - ・まとめ(原案)を作成し直した資料に基づき、石井委員、菅原委員、武濤委員から報告された。区民会議として提言できる範囲を考慮し、より実効性がありインパクトのあるものに絞り込み、まとめた。**【主な意見等】**
 - ・芸術や音楽の専門分野の委員の方々がまとめられたので、具体的な仕上がりとなっている。一区民としての要望としては、コンサートなどの値段が高いのもっと安価にする工夫がほしいところである。
 - 料金が高いのは「芸術家を育てる」という意味合いでの設定でもある。また、会場が満員にならないから広報にあまりお金をかけられない、練習場所などの費用がかさむ、といった問題点もある。
 - ・具体的な取り組みから最終的にどこを目指すのか、をもう少し明確に盛り込んでまとめた方がよいのではないか。
 - 目指すべき方向性は、区民も承知しているだろう。いかに全体として高めるか、実行しやすい条件を整備していくか、が重要であると思う。
 - ・「麻生文化会議(仮称)の設置」の提言について、常設のイメージなのか。
 - 常設するかどうかは別にして、横の連携を図る場の設定が大事と考えた。
 - ・各行事を行なう際に起ち上げる実行委員会には、それぞれのメンバーに同じ人が含まれていることも多いので、「文化会議」のメンバーとも重なるのではないかと。
 - 各行事ごとの個別の実行委員会は、それぞれ個別の動きをしており、「芸術・文化」という括りで横断的な話はしていない。「文化会議」のメンバーについては対象を広げることも考慮したい。
 - ・町会長など、個人が参加しなければならない会議の数が多すぎるので、なるべく会議を増やさない方がよいのではないかと。

- ・「文化担当官の設置」の提案について、誰がどんなことをやるのか。
→区長に提言するから、それは区（長）が考えることではないか。
→年々担当者が変わるのでは困るので、（ある程度）固定される形態を望む。
→必ずしも区の職員に限定しなくてもよいと思う。
- ・区民参加型の内容など、「区民が主体となって進める」ことも提案の中に盛り込みたい。
→麻生市民交流館やまゆりでは、区民が参加して音楽を楽しむという方向性で、「歌声喫茶」などの活動が行われている。
- ・音楽ばかりでなく、演劇、映画、その他さまざまな文化・芸術分野がある。例えば「麻生芸術塾」のようなものを作り、区民が楽しみながら参加し、自ら何かを作っていく、ということが考えられる。
- ・ヒアリングした区行事の中には、企画段階から区民が参加しているものもあり、「芸術・文化のまちづくり」の将来像を考える上で、既存の団体（行事）の横断的な連携に加え、区民が主体で作る要素も盛り込めるのではないか。

イ 「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」について

（Ⅲ ささえあい事業推進の長期的展開などについて）

【報告事項】

- ・前回までの審議内容を受け、ささえあい事業推進の長期的展開についてまとめ直した提案を、資料に沿って土井委員から報告された。

【主な意見等】

- ・資料中の表現で、『自治会』を『町会・自治会』と直した方がよい。
- ・第1ステップの『ささえあい事業（社協）』については、すでに区社協でも事業などの見直し改善が図られているから、省略してもよいのではないか。
→長期的な展開と言う意味で、ステップを3段階とした。
→区社協で見直していることがあるとしても、区民会議の提案として第1ステップを入れてもよいのではないだろうか。
→文章中の『ささえあい事業（社協）』部分を書き直してはどうか。ささえあいは、現行の区社協による事業展開に限ることではない、とわかるように直した方がよい。
- ・区社協は、ささえあい事業だけを改善・充実しているわけではない。
- ・『ささえあい事業（社協）』の表現では、区社協での見直しに限定して受け取られかねないので、『ささえあいの活動』等の表現とし、PRの強化・改善や利用拡大を謳ったらよいと思う。
- ・資料中、第2ステップで『（町会・自治会の中での）住民間のささえあい』が触れられているが、これが一番重要なことではないだろうか。今、町会・自治会内でも住民間のささえあいの関係が希薄になっているところもあり、いざというときの隣近所でのささえあいが非常に大事であると、強くPRしたい。
- ・方向性としては、活動の主な場の中心は町会・自治会となりながらも、そういう

活動ができるよう、区（行政）でも「住民間の関係の大切さ」を認識し、何かしらの働きかけや区としてできることを考えてもらえればよいと思う。

- ・『町会・自治会の中の「住民間のささえあい活動」を基本として推進する。』ということが、まずは前提（第1ステップ）としてある。
- ・区民会議からの提案では、展望として、例えば『今後の区民会議での審議（継続）に期待する』と言えるのではないか。
- ・区民会議からの提案には、基本的なことが書かれていれば、資料中の第2・3ステップにあるような細かな内容まで報告中に含めなくてもよいかもしれない。
- ・資料中の第3ステップにある『事業展開上の行政上の財源確保』部分はないと思う。町会・自治会で展開する際は、独自財源を確保するだけのことである。また、『NPO等の設立…』のような具体的な展開内容については、例えば『今後に向けて（展望）』の中で、1つの可能性として書けるくらいだろうか。
- ・例えば、シルバー人材センターの取り組みにも『地域サポート事業』というものがあり、町内会でもすでに地域の絆づくりに取り組んでいる事例がある。高齢者や障がい者の暮らしやすい環境づくり（ささえあい）には、さまざまな切り口があるというニュアンスを次期に残せればよいのではないか。
- ・町会・自治会では、何かしらの形で絶えず「ささえあい」を行ってきている。但し、組織として福祉部を設置して具体的に何か行事を行うか、民生委員を中心に見守りやささえあいを行うか、など程度や形態はさまざまである。
- ・具体的な取り組みの実効性はどうかのだろうか。
- ・ささえあいの前提条件として、まずは「地域での日頃の交流」が重要だと思う。ささえあい事業展開のステップの中に、この辺りも謳いこめれば、よりよいものができあがるのではないか。
- ・資料中の第2ステップにある『モデル実施は…』の部分について、すでに取り組んでいる事例もあり、PRを主としてはどうか。
→モデル事業実施は考えていない。
- ・ささえあいの活動の参考資料として、また、事業推進のためにはどのような形が必要であるかの例えとして、別紙「ささえあい事業推進の提案」部分を紹介してみてもどうか。
→資料として最終報告に何を添付するかは、後ほど整理したい。

【確認事項】

- ・ささえあい事業展開のまとめ直しについて（簡略イメージ）
 - （前提）町会・自治会の「住民間のささえあい活動」を基本において推進する。
～地域における日頃の交流（絆づくり）の土壌醸成
 - （具体化）「ささえあいの活動」展開のための取り組みについて
 - ①「ささえあいの活動」のPRの強化・改善
 - ②「ささえあいの活動」の利用の拡大
 - ③ささえあい支援内容の見直しや拡充
 - （展望）今後に向けて
 - ①推進母体の設置や個々の活動支援の開始、関係者間の連携強化ほか
 - ②次期区民会議での展開方法等の審議（継続）に期待

(Ⅳ 区社協の事業と利用状況等分析と考察)

【確認事項】

- ・すでに提出されたまとめレポートに基づき、広報の強化部分は「Ⅰ」分類の各広報の取り組みへ吸収し、区社協・市民館・市民交流館やまゆりの各相談窓口での情報共有については「Ⅲ」分類の審議検討の中で吸収していく。

(Ⅴ 高齢者の交通手段確保関連)

【報告事項】

- ・具体的な取り組みなど、前回資料に基づき柳島委員から報告された。

【主な意見等】

- ・区民会議からの提言として取り上げるまではいかなくても、町会・自治会に対して、交通手段を必要とする高齢者の所在・人数の調査を行い、交通困難な高齢者の現況を知りたい。
→区全町連から行政宛てには、すでに要望が提出されている。
- ・町会・自治会に調査を依頼してニーズを把握することで、高齢者の暮らしやすい環境づくりに連なるとともに、宣伝効果としての意義も期待できると思う。
- ・アンケートを行うなら、ただ「要・必要」を問うのではなく、質問項目を精査する必要があるだろう。
- ・アンケート調査の対象は、町会長宛てでよいのか。また、単独町会からの回答が難しい場合は複数町会の連名による回答も可とするのか。
- ・例えば、次のような質問項目が考えられる。
「どの地域に住む人に必要か」「どんな交通ルートが必要か」「料金はいくらなら利用するか」
- ・「役所、郵便局、スーパー、駅…」など、行き先として回ってほしい場所の希望を取る方法もある。
- ・隣の稲城市の循環バスの事例も参考にしたい。
- ・今、高石地区などで実現しているもののステップを踏まえて、実現につながるようなアンケート内容を考えたい。
- ・アンケート内容は12月中に詰め、1月中にアンケートの回答を集約し、2月には結果を集約し、3月のフォーラムで報告できる形にしたい。

【確認事項】

- ・アンケート項目（内容）については、実施の可否も含めて再検討していただくとともに、柳島委員に案を作成してもらう。

(Ⅵ 「ご近所防災マップ」によるご近所コミュニティ・パワーアップ関連)

【報告事項】

- ・普及方法の検討などへの各部会員の協力意向確認の結果を、事務局から報告した。

【主な意見等】

- ・「防災マップ」作成提案のきっかけは、ささえあいの重要性や町会・自治会の防災への関心や取り組みと相まって、地域資源をリストアップして災害に備える、

という具体的な有効手段を例示して報告に盛り込む意図であった。

- ・参考資料として、田中委員の作成した「ご近所防災マップ」づくりの試案を提供してはどうか。

【確認事項】

- ・町会・自治会の中で、まずはご近所の関係づくり（絆づくり）が必要なことであり、「ご近所防災マップ」づくりは、ご近所同士で顔見せ・交流ができ、新百合ヶ丘自治会の防災訓練の活用事例同様に、ささえあいを高める有効な手段の1つとして紹介することはできるだろう。

(Ⅶ コミュニティ・メンタルヘルス・ネットワーク)

【確認事項】

- ・次期区民会議に期待する、ということで確認した。

ウ 「第2回区民会議フォーラム」について

【報告事項】

- ・資料に基づき、第2回フォーラムの概要と、講師を依頼中のNHKとの折衝状況、その他確認が必要なこと（日時、講演内容、パネルディスカッションのテーマと出演者、当日と事前の役割分担など）について、事務局から報告した。

【主な意見等】

- ・日曜日より土曜日の方が集客が期待できるだろう。
- ・講演・パネルディスカッションに展示なども加え、全体の内容が充実されたなら、時間やタイミング、予算の問題も考慮して、「演奏」をプログラムから外してもよいのではないか。
- ・区民会議からの報告について、第1回フォーラムでは個別の部会ごとの報告はしていなかったはずである。第2回は地域交流・文化部会がメインとなるのだから、環境・緑化部会や企画部会からの報告はなくして、質疑応答の時間をもう少し長めに取ってはどうか。
 - 第2回フォーラムでの区民会議報告は、第3期のまとめの意味もあるので、各部会からの報告の時間も必要だと思う。
 - 地域交流・文化部会の持ち時間をもう少し厚くしてもよいのではないか。
 - 区民会議報告の構成について、全体の総括報告と地域交流・文化部会からの報告、としてはどうか。
- ・広報活動の関係上、1月中旬までには何とか講師を決めてもらいたい。
 - 広報上、仮でも講師名を入れさせてもらえるよう、事務局でNHKと調整する。
- ・パネルディスカッションの出演者（パネリスト）をいつまでに決め、誰にするのか、またメンバーに部会委員を入れて舵取り役を担ってもらうのか、などを検討しなければならない。
 - ボランティア団体はメンバーとして必要だろうか。活動団体のアピールの場を設定する意図については、展示ブースのみでPRを図る方法も考えられる。その際は、司会から参加者へ展示ブースへの案内をしたい。

- 民生委員・児童委員から誰か適任な方はいるだろうか。
- 地域包括支援センターは現在区内に複数あり、「ささえあい」という視点から誰に出演してもらうかを調整してもらう必要がある。
- 「ささえあい」のテーマなら、民生委員・児童委員よりも地域包括支援センターから出演してもらった方がよいと思う。
- ・パネリストには、具体的な活動に関わっている人に出てもらった方が、実践を交えて話してもらえるのでよいと思う。但し、依頼の仕方は各団体の長へ推薦してもらう形となるだろう。
- 例えば、「ささえあい」というテーマで、町会のうち実践しているところから推薦してもらえるようお願いしたい。
- ・（パネルディスカッションについては）キーワードとして、無縁社会の怖さとささえあいの大切さが挙げられるだろう。
- ・扱う分野から、社協からも誰か出演してもらった方がよいだろう。
- できれば、苦勞しながら現場で実践に携わっている人をお願いしたい。
- ・パネルディスカッションの後の質疑応答では、区民からの提案や意見出しもできるだろう。
- ・質疑応答の時間を、区民会議報告とパネルディスカッションと合わせて行う方法も考えられる。
- 区民会議報告については、区民意見をいただいて全体の流れを見直す意味もあることから、質疑応答の時間を分けて設定した方がよいだろう。
- ・参加してくれた区民（傍聴者）にも意見を出してもらいたい。
- ・展示スペースについて、具体的にパネルはどのくらい確保できるのか。また、部屋はメイン会場と別会場にすることも可能なのか。
- 現状、15個のパネルは確保できるだろう。また、他の会議室を展示会場とすることは可能である。

【決定事項】

- ・開催日時は、3月3日（土）13時30分～16時30分の予定とする。
- ・プログラム候補から、演奏は削除する。
- ・パネリストは、講演の講師（NHK依頼中）、町会、区社協、地域包括支援センター関係、区民会議委員とする。
- ・細かな設定などは、本日の審議内容を踏まえて、分類「I」の主担当者と事務局で調整を行う。

（2）その他

【決定事項】

- ・次回は11月30日（水）13時から、区役所第4会議室にて第12回部会を開催とし、報告の最終案を検討するとともに、第2回フォーラムの内容も詰める。